

霧島

霧島新聞
NOVEMBER.2007 VOL.44

11

Special Edition
特集◎平成18年度 霧島市の決算概要

Kirishima City Public Relations, Japan
2007.11 VOL.44

霧島新聞



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メール/トリドリス/E-mail:trido@city.kirishima.jp
編集/広報広聴課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/国分新生社印刷

re100



10月19日 午後7時13分 溝辺町麓

JAあいら 15周年記念

◆期間 11/1(木) - 12/28(金)

ウィンターキャンペーン

冬のボーナス・他行満期の預け替えに
JAの定期貯金 『貯王』

- 貯金の種類 スーパー定期
- お預け入れ金額 20万円以上
- お預け入れ期間 1年以上(自動継続型)
- 金利 当JAの店頭表示金利によります。
- 取り扱い対象 個人の方で新規にお預け入れの方に限ります。

コツコツ貯めて夢を実現
JAの定期積金 『積王』

- 貯金の種類 定期積金
- ご契約金額コース 30万円以上
- ご契約期間 1年以上 5年以内
- 金利 当JAの店頭表示金利によります。
- 取り扱い対象 個人の方で新規にお預け入れの方に限ります。

その場で当たるスピードくじ

【抽選券】スピードくじ抽選券とし、次の基準によりおつけします。

- 定期貯金：20万円以上について、1枚おつけします。
- 定期積金：契約金額30万円以上について、1枚おつけします。

特賞 京セラ ホテル&リゾート
ホテル 京セラ
ペアディナーチケット
プレゼント 45組
90名様

1) 下記のレストランのディナータイムでご利用頂けます。
 ◇本館3階 日本料理「京はるか」
 ◇本館3階 中国料理「石籠」
 ◇本館最上階 洋食レストラン「サザンクロス」

2) お食事は本券利用に決められた内容となります。

3) 2008年3月31日(月)までのご利用となります。ただし、下記の期間中はご利用いただけません。
 ◇クリスマスディナー期間(12/22~25)
 ◇年末年始営業期間(12/31~1/3)

4) ご利用の前日までにご予約下さい。

1等 キヤノン 電子辞書
150本

簡単・安心・充実

簡単操作の国語辞典
10桁電卓機能付

2等 石川県産地直送「山中漆器蒔絵仕上げ」
ちよきんぎょ 多様椀・汁椀セット
300本

3等 メジャーなちよきんぎょ
3,000本

手のひらサイズでかわいらしい、ちよきんぎょメジャー。
なんでもちよきんぎょが計測してくれます。
ご家庭に1つは欲しいアイテムです。

詳しくはお近くのJA窓口までお気軽に!

・加治木統括支店 ☎ 63-1133	・横川統括支店 ☎ 72-0311	・隼人統括支店 ☎ 42-1121
・始良統括支店 ☎ 65-3131	・栗野統括支店 ☎ 74-3151	・霧島統括支店 ☎ 57-1211
・蒲生統括支店 ☎ 52-1135	・吉松統括支店 ☎ 75-2121	・国分統括支店 ☎ 45-1033
・溝辺統括支店 ☎ 59-2211	・牧園統括支店 ☎ 76-1121	・福山統括支店 ☎ 56-2201

広告

平成18年度の決算および平成19年度の財政状況

地方自治法第243条の3第1項と霧島市「財政事情」の作成および公表に関する条例第2条の規定に基づき、平成18年度の決算状況と平成19年4月1日から9月30日までの財政状況をお知らせします。

平成18年度の本市の普通会計決算状況を地方財政状況調査（決算統計）の結果に基づき分析すると、歳入決算は567億3,930万円、対前年度比2.8%の減、歳出決算は531億7,146万円、対前年度比3.5%の減となりました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支では35億6,784万円、それから翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は31億4,208万円となりました。単年度の収支は、実質収支から前年度の実質収支を差し引き7億6,243万円の赤字となり、さらに財政

調整基金への積立金を加え、積立金からの取り崩し額を差し引いた実質単年度収支は11億3,622万円の赤字となりました。

また、財政構造の弾力性を判断する指標である経常収支比率は、前年度より2.3ポイント改善し89.6%となりましたが、投資的事業などの財源として借り入れていた地方債の残高は、類似の団体に対し多額な状況となっており、財政の健全性を保つためにも引き続き削減に努める必要性があります。

本市においては、中長期的な財政収支の均衡を図り、後年度の財政運営に支障をきたさないよう、限られた財源の重点的な配分と既存事業の徹底した見直しなどによる一層の節減合理化を図り、歳入の身の丈にあった、健全な財政運営に努めてまいります。

この公表を通じて、市民の皆さまに市の財政実情をご理解いただき、今後の市政運営により一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成18年度 霧島市の決算状況

平成19年度 霧島市の上半期財政状況

◎持続可能な健全財政を目指して



【歳出説明】

民生費	高齢者や障害者および児童の福祉推進などに使われたお金
公債費	これまでの公共事業等の財源として借り入れたお金の返済に使われたお金
総務費	総務人事管理や財産の管理、企画調整や地域の振興、税務事務などに使われたお金
土木費	道路や公園、公営住宅などの整備に使われたお金
教育費	公立学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進などに使われたお金
衛生費	ゴミ、し尿の処理や健康増進事業などに使われたお金
農林水産業費	農業、林業、畜産・水産業などの振興に使われたお金
消防費	消防署や消防団の運営など、消防活動や救急活動に使われたお金
商工費	商業や観光の振興および企業誘致などに使われたお金
その他	議会費、労働費、災害復旧費および公営企業会計への諸支出金に使われたお金

【決算状況の科目解説】

【歳入説明】

地方交付税	所得税などの国税5税の一定割合を、市の状況に応じて配分されたお金
市税	市民税や固定資産税など市に納められた税金
地方債	市が行う公共事業などの財源として、国などから借りたお金
国庫補助金	市が行う特定の事業に対して、国から交付されたお金
繰越金	前年度から繰り越されたお金
県支出金	市が行う特定の事業に対して、県から交付されたお金
繰入金	基金（市の貯金）や特別会計などから繰り入れられたお金
使用料および手数料	公営住宅の家賃や住民票などの証明書の発行に収められたお金
地方譲与税	国税として徴収され、そのまま地方公共団体へ譲与される税金で、国から交付されたお金
地方消費譲与税	地方消費税の一部を、人口などにより按分（あんぶん）されて国から交付されたお金
分担金負担金	保育所の保育料や公共事業の受益者負担金などとして収められたお金
諸収入	市の預金利子や各種貸付金の元利収入
その他	国からの各種交付金、財産収入、寄付金として収められたお金



国分駅自由通路

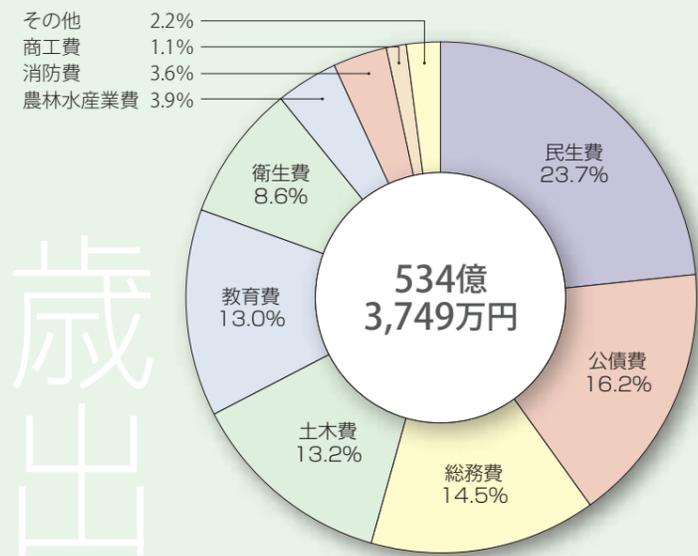


ふれあいバス



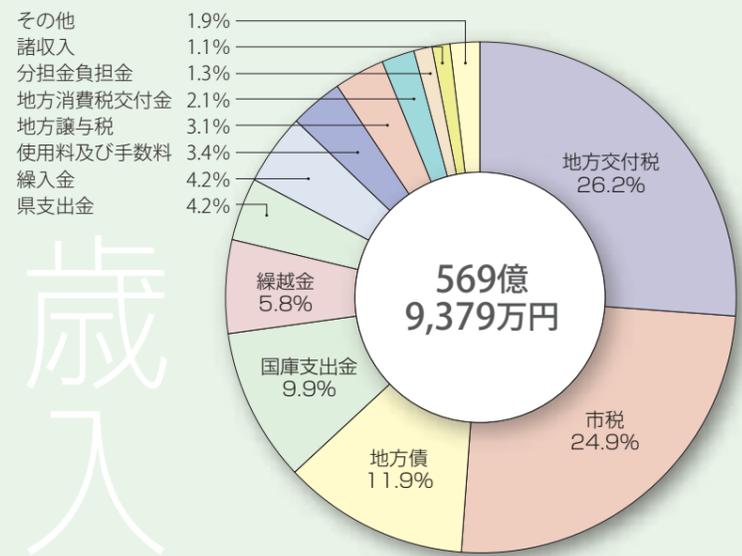
除間伐の状況

■一般会計の決算状況



◎歳出の構成比

項目	平成18年度決算額	構成比
民生費	126億5,551万円	23.7%
公債費	86億3,869万円	16.2%
総務費	77億4,001万円	14.5%
土木費	70億7,480万円	13.2%
教育費	69億4,797万円	13.0%
衛生費	45億7,898万円	8.6%
農林水産業費	21億250万円	3.9%
消防費	19億3,268万円	3.6%
商工費	5億7,068万円	1.1%
その他	11億9,567万円	2.2%
計	534億3,749万円	100.0%



◎歳入の構成比

項目	平成18年度決算額	構成比
地方交付税	149億4,998万円	26.2%
市税	141億6,216万円	24.9%
地方債	67億9,700万円	11.9%
国庫支出金	56億6,196万円	9.9%
繰越金	32億8,662万円	5.8%
県支出金	24億407万円	4.2%
繰入金	23億9,818万円	4.2%
使用料及び手数料	19億5,886万円	3.4%
地方譲与税	17億5,429万円	3.1%
地方消費税交付金	12億790万円	2.1%
分担金負担金	7億3,743万円	1.3%
諸収入	6億1,129万円	1.1%
その他	10億6,405万円	1.9%
計	569億9,379万円	100.0%

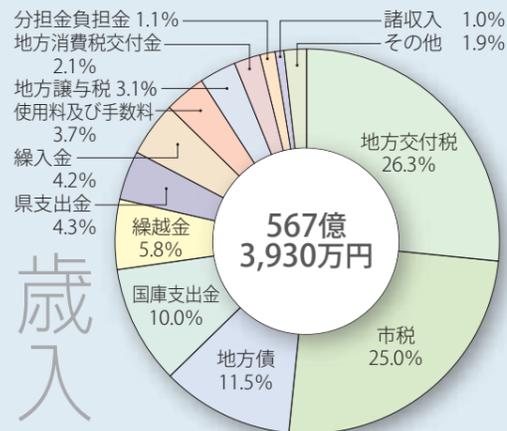
霧島市の決算（普通会計）

この普通会計の決算は、全国一律に実施された平成18年度地方財政状況調査（決算統計）により算定したものです。

霧島市の普通会計は、霧島市一般会計（公有林整備事業借換債2億7,900万円を歳入歳出決算額から除く。）から市場管理費にかかるものを除き、空港県営駐車場管理事業特別会計を合算したものです。なお、平成17年度の決算は、合併前の旧1市6町の普通会計と消防組合などの一部事務組合決算および合併後の霧島市普通会計の決算を単純合算しています。

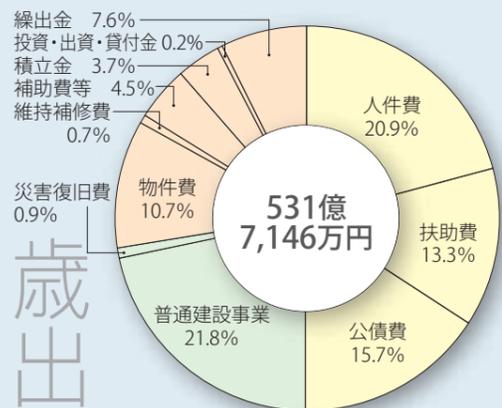
◎歳入の構成比

	平成18年度決算額	構成比	平成17年度決算額	増減額
地方交付税	149億4,998万円	26.3%	145億2,643万円	4億2,355万円
市 税	141億6,216万円	25.0%	139億8,981万円	1億7,235万円
地 方 債	65億1,800万円	11.5%	67億 280万円	△1億8,480万円
国庫支出金	56億6,470万円	10.0%	57億5,548万円	△ 9,078万円
繰 越 金	32億9,117万円	5.8%	33億8,312万円	△ 9,195万円
県 支 出 金	24億4,086万円	4.3%	25億2,271万円	△ 8,185万円
繰 入 金	23億9,656万円	4.2%	40億6,954万円	△16億7,298万円
使用料及び手数料	20億9,306万円	3.7%	21億8,001万円	△ 8,695万円
地方譲与税	17億5,429万円	3.1%	13億2,421万円	4億3,008万円
地方消費税交付金	12億 790万円	2.1%	12億 392万円	398万円
分担金負担金	6億 526万円	1.1%	5億8,562万円	1,964万円
諸 収 入	5億9,128万円	1.0%	9億7,326万円	△ 3億8,198万円
そ の 他	10億6,408万円	1.9%	11億5,968万円	△ 9,560万円
計	567億3,930万円	100.0%	583億7,659万円	△16億3,729万円



◎歳出の構成比（性質別）

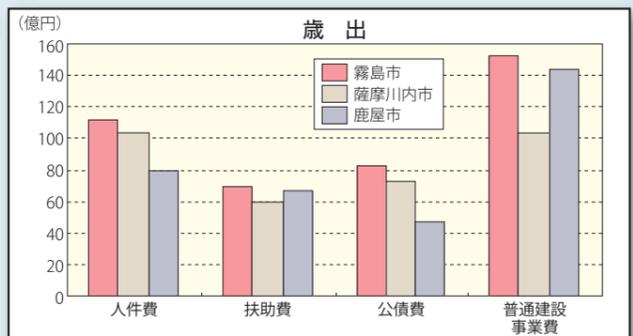
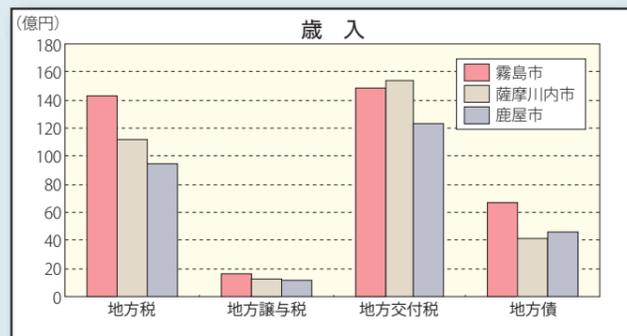
	平成18年度決算額	構成比	平成17年度決算額	増減額
義務的経費	265億6,391万円	49.9%	255億9,136万円	9億7,255万円
人件費	111億2,564万円	20.9%	115億6,911万円	△4億4,347万円
扶助費	70億8,952万円	13.3%	57億1,037万円	13億7,915万円
公債費	83億4,875万円	15.7%	83億1,188万円	3,687万円
投資的経費	120億5,910万円	22.7%	151億1,733万円	△30億5,823万円
普通建設事業	115億8,028万円	21.8%	146億1,242万円	△30億3,214万円
災害復旧費	4億7,882万円	0.9%	5億 491万円	△ 2,609万円
その他の経費	145億4,845万円	27.4%	143億7,673万円	1億7,172万円
物件費	56億9,167万円	10.7%	61億4,110万円	△ 4億4,943万円
維持補修費	3億8,804万円	0.7%	4億3,954万円	△ 5,150万円
補助費等	23億7,134万円	4.5%	26億2,379万円	△ 2億5,245万円
積立金	19億4,078万円	3.7%	4億8,341万円	14億5,737万円
投資出資・貸付金	1億 91万円	0.2%	1億6,961万円	△ 6,870万円
繰 出 金	40億5,571万円	7.6%	45億1,928万円	△ 4億6,357万円
計	531億7,146万円	100.0%	550億8,542万円	△19億1,396万円



◎平成18年度 県内の類似団体との比較

区 分	霧 島	薩摩川内	鹿 屋
住民基本台帳人口(H19.3.31現在)	127,941人	102,397人	106,419人
面 積	603.68km ²	683.5km ²	448.33km ²
歳 入 合 計 (A)	567億3,930万円	512億6,604万円	451億6,216万円
うち市税	141億6,216万円	111億2,899万円	95億8,932万円
うち地方譲与税	17億5,429万円	13億7,575万円	12億8,638万円
うち地方交付税	149億4,998万円	154億3,296万円	122億8,968万円
歳 出 合 計 (B)	531億7,146万円	492億4,890万円	437億3,025万円
うち義務的経費	265億6,391万円	237億7,515万円	200億9,525万円
うち投資的経費	120億5,910万円	94億7,335万円	107億9,512万円
うちその他の経費	145億4,845万円	160億 40万円	128億3,988万円
歳入歳出差引(A)-(B)(C)	35億6,784万円	20億1,714万円	14億3,191万円
翌年度へ繰り越すべき財源(D)	4億2,576万円	4億7,334万円	1億 834万円
実 質 収 支 (C)-(D)(E)	31億4,208万円	15億4,380万円	13億2,357万円

区 分	霧 島	薩摩川内	鹿 屋
積立金	16億3,379万円	15億7,118万円	8億7,971万円
積立金取崩額	12億6,000万円	25億8,044万円	13億3,939万円
基準財政収入額	133億3,207万円	109億1,677万円	92億7,797万円
基準財政需要額	233億2,768万円	212億2,750万円	185億9,909万円
標準財政規模	303億3,871万円	271億1,853万円	227億6,467万円
経常収支比率(%)	89.6	94.9	91.4
財政力指数	0.52	0.48	0.47
公債費比率	18.3	15.2	14.9
積立金現在高	108億7,634万円	115億4,851万円	89億 814万円
うち財政調整基金	48億7,479万円	45億3,133万円	29億3,286万円
地方債現在高	801億1,459万円	625億9,034万円	487億4,697万円



◎特別会計決算

特 別 会 計 名	歳 入	歳 出	差 引
国民健康保険特別会計	130億5,314万円	129億7,452万円	7,862万円
老人保健医療特別会計	138億8,846万円	137億5,589万円	1億3,257万円
介護保険特別会計	72億5,412万円	67億1,745万円	5億3,667万円
交通災害共済事業特別会計	2,565万円	1,733万円	832万円
空港県営駐車場管理事業特別会計	5,047万円	3,894万円	1,153万円
国民休養地事業特別会計	1,612万円	1,570万円	42万円
下水道事業特別会計	19億9,305万円	19億 560万円	8,745万円
丸岡公園特別会計	9,276万円	9,276万円	0円
温泉供給特別会計	1億 708万円	8,646万円	2,062万円
計	364億8,085万円	356億 465万円	8億7,620万円

◎企業会計決算

企 業 会 計 名	収益的収入および支出		資本的収入および支出	
	収 入	支 出	収 入	支 出
水 道 事 業	17億3,839万円	13億7,578万円	1,716万円	4億4,085万円
簡 易 水 道 事 業	5億3,722万円	4億7,162万円	2億4,651万円	4億4,789万円
工 業 用 水 道 事 業	693万円	515万円	0円	8万円
病 院 事 業	32億3,812万円	32億1,961万円	1億2,880万円	2億8,914万円
計	55億2,066万円	50億7,216万円	3億9,247万円	11億7,796万円

◎市債の借入状況（公営企業を除く）

借 入 先	市債借入金残高
財政融資など	375億1,316万円
郵政公社資金	137億1,252万円
公営企業金融公庫	104億3,903万円
市 中 銀 行	83億4,745万円
そ の 他	101億 243万円
合 計	801億1,459万円

◎財産の状況

区 分	平成18年度末現在高	
土 地	3,507ha	
（うち市有林）	1,915ha	
建 物	880,537m ²	
合 計	107億8,153万円	
基 金	財政調整基金	32億4,595万円
	減債基金	11億6,005万円
	特定建設事業基金	10億5,989万円
	その他基金	53億1,564万円
有価証券	3億6,423万円	

※霧島市一般会計・特別会計歳入歳出決算書より

【用語説明】

① 財政力指数

地方公共団体の財政力を判断する指標で、地方交付税法の規定により算定された基準財政需要額で基準財政収入額を除いて得た数値の過去3年間の平均値をいい、一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされています。

② 経常一般財源比率

経常一般財源の標準財政規模に対する割合で、一般的に「100」を超える割合が高いほど経常一般財源に余裕があり歳入構造に弾力性があるとされています。

③ 経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する最も一般的な指標で、歳出の経常的経費に充当された一般財源などが歳入の経常一般財源などに占める割合で、70%～80%が標準的とされ、比率が低いほど財政構造に弾力性があるとされています。

④ 公債費比率

公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、一般財源などに対し、公債費に充てた一般財源の比率です。

◎霧島の主な指数等

	平成18年度	平成17年度
① 財政力指数	0.52	0.48
標準財政規模	303億3,871万円	282億8,392万円
基準財政収入額	133億3,207万円	121億3,801万円
基準財政需要額	233億2,768万円	247億 617万円
経常一般財源収入額	306億3,990万円	293億7,312万円
実質収支比率	10.4	8.4
② 経常一般財源比率	101.0	103.9
③ 経常収支比率	89.6	91.9
④ 公債費比率	18.3	18.2
⑤ 実質公債費比率（3か年平均）	13.8	12.8
⑥ 地方債許可制限比率（3か年平均）	11.9	11.1

⑤ 実質公債費比率

実質公債費比率は、地方公共団体の収入に対する借金返済額の比率を示すものです。普通会計の公債費に下水道特別会計や水道事業会計などへの繰入金（公債費相当分）を加算し、財政負担の度合いを判断するもので、18%を超えると地方債発行について国や県の許可が必要とされます。

⑥ 地方債許可制限比率

地方債の許可制限に係る指標で、地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを判断するもので、20%を超えると一部、30%を超えるとほとんどの地方債発行について制限されます。

平成19年度上半期(4月～9月)の財政状況

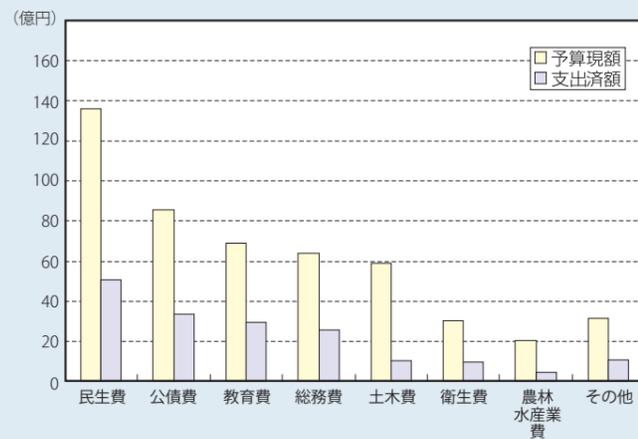
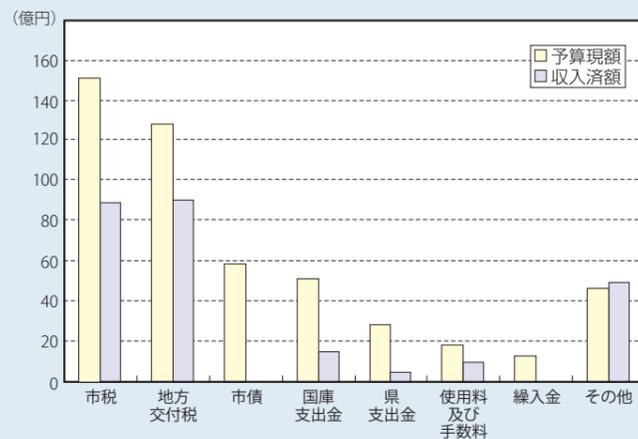
(平成19年9月30日現在)

◎一般会計(歳入)

	予算現額	収入済額	予算構成比	収入率
市 税	153億8,371万円	89億6,428万円	31.0%	58.3%
地方交付税	127億 円	94億9,096万円	25.6%	74.7%
市 債	57億6,930万円	0円	11.6%	0.0%
国庫支出金	52億8,043万円	16億2,329万円	10.6%	30.7%
県 支 出 金	27億8,020万円	4億3,984万円	5.6%	15.8%
使用料及び手数料	18億2,105万円	9億3,047万円	3.7%	51.1%
繰 入 金	13億2,871万円	0円	2.7%	0.0%
そ の 他	45億9,050万円	49億4,225万円	9.2%	107.7%
歳 入 合 計	496億5,390万円	263億9,109万円	100.0%	53.2%

◎一般会計(歳出)

	予算現額	支出済額	予算構成比	執行率
民 生 費	136億6,125万円	53億 743万円	27.5%	38.9%
公 債 費	85億8,931万円	34億6,883万円	17.3%	40.4%
教 育 費	68億8,014万円	29億8,658万円	13.9%	43.4%
総 務 費	63億7,001万円	25億8,318万円	12.8%	40.6%
土 木 費	59億 518万円	12億9,230万円	11.9%	21.9%
衛 生 費	30億3,506万円	10億8,788万円	6.1%	35.8%
農林水産業費	20億2,342万円	5億5,412万円	4.1%	27.4%
そ の 他	31億8,953万円	12億1,192万円	6.4%	38.0%
歳 出 合 計	496億5,390万円	184億9,224万円	100.0%	37.2%



◎特別会計

会 計 名	予算現額	歳 入		歳 出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	137億7,955万円	46億8,483万円	34.0%	60億6,645万円	44.0%
老人保健医療	142億8,466万円	61億2,512万円	42.9%	59億6,632万円	41.8%
介護保険	80億5,720万円	40億1,608万円	49.8%	27億7,120万円	34.4%
交通災害共済事業	3,167万円	997万円	31.5%	970万円	30.6%
下水道事業	17億 717万円	3億 680万円	18.0%	5億3,477万円	31.3%
温泉供給	8,981万円	5,817万円	64.8%	1,893万円	21.1%

※収入済額が支出済額に対して不足する額は、他会計からの繰替運用により措置しています。

◎財産の状況

区 分	面積・金額
土 地 (うち市有林)	3,507ha (1,914ha)
建 物	891,793㎡
基 金	127億2,862万円
内 積立基金	108億9,010万円
訳 その他の基金	18億3,852万円
有価証券	3億6,423万円

◎市債の借入状況

区 分	現在高
市 債	772億9,262万円

(公営企業を除く)

◎企業会計

会 計 名	収 益 的				資 本 的			
	収 入	執行率	支 出	執行率	収 入	執行率	支 出	執行率
水 道 事 業	予算額	17億 771万円	15億8,283万円	17.3%	592万円	1.2%	9億6,571万円	12.1%
	執行額	8億5,072万円	2億7,306万円	7万円	1億1,701万円			
簡 易 水 道 事 業	予算額	4億8,450万円	4億6,868万円	13.6%	0円	0.0%	4億1,904万円	2.0%
	執行額	1億8,591万円	6,359万円	0円	825万円			
工 業 用 水 道 事 業	予算額	678万円	678万円	32.4%	0円	0.0%	53万円	0.0%
	執行額	184万円	220万円	0円	0円			
病 院 事 業	予算額	34億3,379万円	34億2,031万円	43.3%	0円	0.0%	1億5,805万円	32.5%
	執行額	16億6,500万円	14億8,081万円	0円	5,139万円			

※収益的収入額が収益的支出額に対して不足する額は、事業資金の運用により措置しています。

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金・利益剰余金などで補っています。

【市民一人当たりの決算額と主な事業】

	民生費	公債費	総務費
歳出決算額	97,783 円	65,255 円	58,852 円
歳出決算に占める割合	23.5%	15.7%	14.2%
対前年度との増減額	9,521 円	△ 60 円	△ 4,938 円
実施事業等の概要	<p>高齢者、障害者、児童の福祉推進などに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆児童クラブ運営補助等 ◆生活保護費の支給等 ◆児童手当の支給 ◆公立・私立の保育所運営支援 ◆養護老人ホームの運営 ◆高齢者への生活支援事業等 ◆障害者への生活支援事業等 	<p>これまでの施設整備等で借りたお金の返済に</p>	<p>総務管理、財産管理、企画調整、地域振興、税務事務などに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆土地、建物等の財産管理 ◆税の賦課・徴収 ◆ふれあいバス等の運行 ◆自治会、地域の活性化事業 ◆電算システムの稼働 ◆行政改革への取り組み ◆交通防犯対策の取り組み ◆関平鉱泉販売所の管理運営

	教育費	土木費	衛生費
歳出決算額	54,046 円	51,543 円	39,189 円
歳出決算に占める割合	13.0%	12.4%	9.4%
対前年度との増減額	△ 7,721 円	△ 10,568 円	1,752 円
実施事業等の概要	<p>学校の管理運営や施設整備および生涯学習の推進などに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆日当山小学校ほか施設整備 ◆国分中学校ほか施設整備 ◆運動公園等の施設維持管理 ◆埋蔵文化財発掘調査 ◆図書館・図書室の維持管理 ◆パソコン講座等の開催 ◆国分中央高校の運営 	<p>道路、公園、公営住宅の整備などに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市道の維持管理および新設改良 ◆河川および港湾の管理費 ◆公営住宅の維持管理等 ◆国分駅周辺整備(自由通路等) ◆公園整備および管理事業 ◆土地区画整理事業 	<p>ごみ、尿の処理や健康増進事業などに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆合併処理浄化槽の設置補助 ◆ゴミの収集、運搬 ◆清掃センター、尿処理場、火葬場の管理運営 ◆各種予防接種事業 ◆母子保健事業 ◆老人保健事業(基本検診および各種がん検診) ◆乳幼児医療費の助成

	農林水産業費	消防費	商工費
歳出決算額	16,500 円	15,827 円	8,956 円
歳出決算に占める割合	4.0%	3.8%	2.2%
対前年度との増減額	△ 2,430 円	△ 565 円	50 円
実施事業等の概要	<p>農業、林業、畜産・水産業の振興などに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆園芸ブランド作物の推進および各種生産組合等の育成・強化 ◆家畜排泄物処理施設等の整備 ◆森林整備事業(除間伐事業等) ◆松くい虫特別防除事業 ◆林道・農道等整備事業 ◆生産基盤整備等の県営事業負担金 	<p>消防活動や救急業務などに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆常備消防(消防署)の運営 ◆非常備消防(消防団)の運営 ◆準人分遣所移転新築 ◆消防団ポンプ車整備 ◆防火水槽整備 ◆水防防災・災害対策事業 	<p>商業、観光の振興および企業誘致などに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆消費生活改善相談事業 ◆商店街活性化事業 ◆企業誘致推進 ◆観光振興等補助 ◆スポーツ団体のキャンプ誘致

※金額は、普通会計(決算統計)の歳出決算額を、平成19年3月31日現在の人口127,941人で除したものです。

霧島かわら版

地域福祉を考える

10月8日、介護老人保健施設などを運営するアムニティ国分が開設10周年を迎えたことを記念し、国分ピックセンターで「いきいきライフセミナー」が開催され、約300人が参加しました。セミナーでは、「宮城県を日本一の福祉の先進県に」と奔走した前宮城県知事の浅野史郎氏が「地域福祉とは何か」と題して、「障害者が地域の中で暮らせる環境整備や周囲の意識改革が必要だ」と講演しました。また、大阪川崎リハビリテーション大学の山本和義教授と対談し、地域における障害児教育のあり方について意見を交わしました。



Kirishima topics 01

アルハンブラ市代表団が訪問

アメリカ合衆国カリフォルニア州アルハンブラ市の訪問団12人が、10月14日から16日まで霧島市を訪れました。アルハンブラ市のゲリー・山内市長の祖父が旧国分市出身で霧島市と縁があることから、霧島市との姉妹都市盟約の締結と霧島市への訪問をしたいとの要望がありました。これに対して、今年7月に前田市長がアメリカを訪問したときにアルハンブラ市を訪れ、山内市長と対談し、今回の訪問が実現しました。残念ながら山内市長は急病により訪問できませんでした。元市長や市議などが訪れ、交流を深めました。



Kirishima topics 02

わんりんピックまであと1年

60歳以上の高齢者を中心としたスポーツ・文化の全国規模の祭典「ねんりんピック鹿児島」が来年の10月に鹿児島県で開催されます。霧島市ではソフトボール、ゴルフ、ゲートボールの3種目が開かれ、各都道府県代表の選手約2,600人が出場します。本番まで約1年となり、10月14日にはソフトボール、29日にはゴルフ、11月1日にはゲートボールのリハーサル大会が市内各会場で開かれ、本番さながらの熱戦が繰り広げられました。今後、各関係団体などと協力して、本番成功に向けた調整が進められます。



Kirishima topics 03

霧島市に移住しませんか

10月12日から3日間、霧島市への移住体験研修があり、神奈川県、千葉県、奈良県から3組の夫婦が参加しました。市ではUターンやIターンの移住策を積極的に進めており、各種イベントや県人会などで移住を呼びかけています。昨年度は約50件の相談があり、8世帯が霧島市に移りました。今回は、市や民間の分譲地を見学したり、稲刈り体験でかけ干しをしました。参加者は「霧島市は交通のアクセスもよく、自然に囲まれ温泉もあっていい。体験研修は参考になりました」と話していました。



Kirishima topics 04

自分たちのまちは自分たちで守る

NEWS 「あんしん・あんぜん検定」を通して、防犯意識を高め犯罪の抑制につなげる。

霧島市と霧島警察署、横川警察署などが協力して10月14日、「霧島市あんしん・あんぜん検定」が実施され、市内14か所の会場で576人が受検しました。市民一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪の抑制につなげようとする取り組みで、全国で初めて実施されました。

霧島市の犯罪状況

この検定を実施することになった背景には、霧島市の犯罪率の高さがあります。鹿児島県警がまとめた「平成18年の県内市町村犯罪発生実態」によると、霧島市の刑法犯の犯罪件数は1,250件で、平成17年の1,464件に比べ減少傾向にあるものの、発生率（人口1万人当たり犯罪の発生件数）は鹿児島市に次いで2番目に高いという状況のままです。霧島市の刑法犯罪は約8割が窃盗（どろぼう）で、その約3割を自転車やオートバイといった乗り物窃盗が占めています。

自主防犯組織の結成

鹿児島県警は治安回復のため、平成17年に「あんしん・かごしま創造プログラム」という施策を開始し、その中で自主防犯活動（パトロール隊活動）を推奨しました。

霧島市においても、犯罪発生率が高いことや、犯罪に遭うかもしれないという「体感治安」が悪化しているという理由から、昨年12月に「霧島市安心安全まちづくり条例」を制定しました。行政や市民、地域活動団体などが協働して安心安全なまちをつくらうというもので、これにより自主防犯組織の防犯パトロール隊も、自治公民館組織や学校、

あんしん・あんぜん検定

民間企業、自衛隊、郵便局、消防団といった72団体がこれまでに結成され、7,896人がそれぞれの団体で活動しています。

さらに霧島市独自の取り組みとして実施されたのが、今回の「あんしん・あんぜん検定」です。受検の申し込みをされたかたには事前に、霧島市の犯罪の実態や身近な犯罪防止の要点などをまとめた公式テキストが渡され、検定の問題はそのテキストの中から100問が○×式で出題されました。100問中70問以上正解したかたには「あんしん・あんぜんマスター」の称号が与えられ、11月下旬に認定書とバッジが郵送されます。

受検した国分地区在住の前田米蔵さんは「市民の私たちが防犯意識を高めなければならぬ」と思い、受検しました。テキストで勉強することで、霧島市の犯罪の実態や防犯上の要点などがよくわかりました。今後、職



問題に取り組む受検者（会場：国分公民館）

着々と進む市のプロジェクト CIVIC NEWS



interview

おはた もとふみ 大島 基史 さん（霧島警察署生活安全刑事課）

例えば車や自転車の無施設による盗難被害など、確実な施設という防犯意識が行動として習慣付いていれば起こらなかったものがあります。個人が犯罪被害防止に努めることも大切で、今回の検定は知識の習得度を確かめる機会になったのではと思います。犯罪件数が減れば、犯人を捕まえるという警察機能を充実させることができます。防犯意識が全体的に高まって、みんなで安心安全なまちをつくってほしいと思います。

秋です、本です、読書です。 今月の新刊。

十七歳

岩井志麻子著
人気エッセイストとなった林あや美には、痛い思い出がある。12年も前、一緒に夜遊びしていた歌舞伎町で、女子高生の友だちが突然消え失せたのだ。そんなあや美の前に、次々と現れる奇怪な男女。それが恐怖の始まりだった。

借金取りの王子

垣根涼介著
デパート、生保、金融、ホテル……。デキる女ほど、なぜ辞めたがる？ リストラ請負人・村上真介の悩みは今日も深い。「君たちに明日はない」に続く第2弾。

たのしいこびと村

エーリッヒ・ハイネマン文
貧しいねずみの親子ブツとビーブスは、困った時に助けてくれる「こびとの村」を探しに旅に出ることに。ようやくたどりついた村で、こびとたちに親切にもらった2匹は、実りのお祭りに加わり……？

トゥートとパドル だからきみがだいすき

ホリー・ホビー作
オパールちゃんのクラスに新しく入ってきたパブルズちゃんって女の子。たちまち先生のお気に入りになって、クラス一番の人気者になるんだけど……。心あたたまる「トゥートとパドル」シリーズ第10弾。

あ

じさい日記（渡辺淳一）
いつかは恋を（藤田宜永）
クロバー（島本理生）
心抄（藤沢 周）
佳人の奇遇（島田雅彦）
マザコン（角田光代）
心に籠をちりばめて（白石一文）
望みは何と訊かれたら（小池真理子）
走ることに語るときに僕の語ること（村上春樹）
研ぎ師太吉（山本一力）
私の男（桜庭一樹）
剣客春秋初孫お花（鳥羽 亮）
黒い森（折原 一）
夢見る黄金地球儀（海堂 尊）
十二の嘘と十二の真実（あさのあつこ）
遺したい言葉（瀬戸内寂聴）
幕末の尼將軍一篤姫（童門冬二）
その日信太郎人情始末帖（杉本章子）
はぐれ鷹（熊谷達也）
とっておき手編みのプラ

ンケット（渡部サト）
わたしの味野菜たっぶり（栗原はるみ）
つるかご（自然素材工作編集部）
りすが作る、手袋でぬいぐるみ（金森美也子）
和のおやつ、はじめての和菓子レッスン（金塚晴子）
和菓子スタジオへちま本の妖精リブロン（末吉暁子）
お皿のボタン（たかどのほうこ）
ぞうのせなか（秋元康文）
ふたりはクリスマスで（イローナ・ロジャース）
サンタクロースとぎんのかま（マレーク・ペロニカ）
ねずみくんおおきくなったらなにになる（なかえよしを）
おまじないつかい（なかがわちひろ）

【霧島市立図書館】

霧島市立図書館においでください。

霧島市7か所の図書館(室)で本が借りられます。

国分図書館 / ☎64-0918

- ① 9:30~21:00
- ② 12月29日~1月3日
特別整理期間/6月中の10日間

隼人図書館 / ☎43-7574

- ① 平日/10:00~19:00
土・日・祝日/9:00~17:00
- ② 月曜日
12月29日~1月3日
特別整理期間/12月中10日以内

溝辺図書室 / ☎58-3191

- ① 8:30~19:00
- ② 12月29日~1月3日

横川図書室 / ☎72-1596

- ① 9:00~17:00
- ② 火曜日・祝日
12月29日~1月3日

牧園図書室 / ☎78-3349

- ① 8:30~19:00
- ② 12月29日~1月3日

霧島図書室 / ☎57-0316

- ① 月・水・金/8:30~17:00
火・木・土/8:30~20:00
- ② 日曜日・祝日
12月29日~1月3日

福山図書室 / ☎56-2026

- ① 8:30~17:00
- ② 土・日曜日・祝日
12月29日~1月3日

【① 開館時間 ② 休館日】



妙見温泉

全国的にも有名になってきた妙見温泉は、天降川の河畔に旅館が集まっています。自然豊かで静かな温泉地で各温泉宿は自家源泉を持ち、ほとんどが源泉「かけ流し」。離れを持った高級旅館もありますが、湯治場として発祥したため自炊宿もあります。

妙見温泉は環境省の国民保養温泉地に指定されています。古くから湯治場として知られ、宮崎県からも湯治客が来ていました。妙見大橋のたもとのおりはし旅館は明治12年創業で、与謝野晶子などの著名人も宿泊したことのある、妙見で最も古い宿です。また昨年、妙見は旅行会社や運輸業者が選ぶ「にっぽんの温泉百選」(観光経済新聞社)に選ばれています。

妙見温泉振興会会長の只野公康さんは「全国の温泉を見てきましたが、改めて妙見の景観のよさを感じます。日帰り入浴もできるので宿に相談してください」と話してくれました。



熊襲の穴
熊襲族が住んでいたといわれる穴には現代アートが描かれています。(妙見石原荘所有)

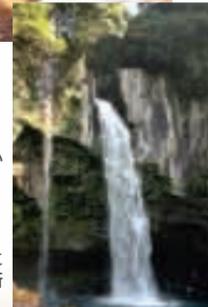


妙見温泉の泉質はほとんどが炭酸水素塩泉。空港からわずか15分の場所にある静かな温泉地。(写真はおりはし旅館)



和気神社
和気清麻呂公を祀(まつ)っている。社殿前には狛犬(こまいぬ)ではなく白猪が鎮座している。

犬飼滝
高さ36m、幅22mの豪快に流れ落ちる滝。坂本龍馬も新婚旅行で、この滝を眺めた。



還暦を記念して、北海道の最北端・宗谷岬から最南端の佐多岬まで自転車で行く日本縦断に挑戦していた、国分郡田のタクシー運転手、野間茂樹さん（60歳）が、32日間で3,595・93キロを走破し、会社の同僚や市民が出迎える市役所に無事ゴールしました。

野間さんは、前田市長から観光PR大使の特命を受け、9月5日、午後1時に宗谷岬を出発。「おいでよ！日本発祥の地・霧島へ」の文字をプリントしたTシャツ姿で、マウンテンバイクにまたがり、札幌、仙台、東京、大阪などの大都市圏をまわり、九州に南下するコースをたどり市のPRをしました。途中、ボランティアで配布した観光パンフレットは、5,500枚。東京の浅草や銀座などで歩行中の人に手渡すだけではなく、商店街を1軒1軒まわりながら配布し、多くの人たちとふれあい反応もよかったです。霧島市と姉妹都市盟約を結んでいる岐阜県海津市役所や岡山県和気町役場も訪問し交流しました。

10月6日、午後2時50分に市役所にゴールし、同僚から花束をもらい祝福された野間さんは「無事に目標が達成できてホッとしています。北海道の台風や箱根の山越えが一番きつかったが、あちこちでりんごやみかん、お菓子などの差し入れをもらい、激励され元気をもらいました。これからの目標として四国一周や天草の島々を自転車で巡りたい」と意欲を燃やしていました。



野間 茂樹さん／(国分郡田在住) 昭和22年国分郡田生まれ。木原中学校を卒業後、大阪府平野区の物流会社に就職。平成15年帰郷する。鹿児島交通観光バスタクシー事業部に入社。平成17年4月中村タクシーに入社。現在に至る。9年前にスキーで傷めたひざのリハビリのため本格的に自転車に乗り始め、その魅力にとりつかれた。

人の風景

THE SCENE
霧島に生きる

「霧島をPR」自転車で日本縦断

還暦の記念に
宗谷岬から霧島市を目指した
32日間の旅



日本縦断を無事終えた野間さん＝霧島市役所前



太陽の光をたっぷり浴びた
香りと甘さを届けます

slow food & human life

●隼人町朝日地区在住

園畑 大嘉志さん
正子さん



みかん

ビタミンCが多く含まれ、かぜ予防や疲労回復に効果的。果肉を包む袋などには整腸作用があるので袋ごとどうぞ。



かぼちゃの青みかんシロップ漬け

【作り方】

- ①かぼちゃを3cm幅に切りさらに半分に切る。皮は一部カットする。
- ②水にグラニュー糖を入れ、火にかけて溶かす。粗熱がとれたらみかんのしぼり汁を加えておく。
- ③電子レンジのトレイにぬれたペーパータオルを敷き、中央をさけてかぼちゃを並べる。ラップを上から軽くかぶせて、500Wで約5分加熱する。(竹ぐしが通るまで)
- ④かぼちゃは熱いうちに②のシロップに入れ、冷蔵庫で冷やす。3～4日間保存可能。

※デザートとしてどうぞ。好みでゆであずきをのせてもおいしい。



【材料】

かぼちゃ 500g (20cm大のかぼちゃ半分)、グラニュー糖1と1/2カップ、水1と1/2カップ、青みかん(約3個分)しぼり汁60cc
※青みかんは酸味がある方がよい。

桜島を目前に眺望できる隼人町朝日地区で、太陽の恵みをたっぷり受けたみかんが収穫の時期を迎えています。南向きの傾斜地に位置する同地区は、排水もよく、冬の北風にさらされることが少ないため一年中比較的温暖です。これを生かし、同地区では明治時代から果樹栽培が盛んで、15戸ほどの果樹農家があり、全体で約15畝の果樹園が広がります。

朝日果樹組合の会長を務めるのが園畑大嘉志さん。高校を卒業してから48年間、祖父の代から受け継がれてきた果樹栽培に取り組み、妻の正子さんと一緒にみかんを150kg、桃を40kg、柿を40kg栽培しています。みかんの品種は極早生温州と普通温州で、9月下旬から12月下旬まで収穫できます。

園畑さんは、減農薬栽培はもろろんのこと、みかんの質をあげるために効果的な肥料や品種などの情報を先進地に出向き収集するなど、研究を欠かしません。「率直に評価してくださるのが消費者の皆さん。『おいしい』という言葉が聞けたときに、成果が出たうれし瞬間です」と笑顔で話す園畑さんの挑戦はこれからも続きます。

「食を
良し
まを
する」
霧島の風味を楽しみませんか。



道路舗装工事 アスファルト合材製造

始建産業株式会社（霧島市溝辺町）
代表取締役 **安田 茂さん**



道路の舗装工事およびアスファルト合材の製造販売が主な仕事です。現在は循環型社会の一環として道路やビルを壊したコンクリートガラを受け入れて再生アスファルト合材、再生路盤材の製造を行っています。4年前から数根清掃センターのスラグをアスファルト合材の材料の一部として再生利用に取り組んでいます。コスト面に厳しいところがありますが、環境保護という時代の要請に応え、少しでも地元へ還元できればと考えています。



インフラテック株式会社（湧水町）
生産部栗野工場長 **松崎 久則さん**

歩道や公園、家の庭などに使われるインターロッキングを製造しています。製造するインターロッキングの一部は未来館から1年間に700トンほど出るスラグを砂と一緒に混ぜて作った製品です。製造にあたっては材料の配合などが難しかったり、エコマークの認定基準をクリアするのに苦労したりしました。会社としては、今後も社会に貢献し、環境にやさしい取り組みをしていきたいと思っています。



インターロッキング製造

シリーズ
5

ごみ問題を考える

↓スラグとは

ごみを蒸し焼きにしてできたカーボン(炭素)をさらに1,200℃以上の高温で溶かします。溶岩のようにドロドロに溶けたカーボンを水の中に落とし、急激に冷やすと直径5ミリくらいの硬く細かい黒色のガラス状の物質になります。これがスラグです。



捨てるだけではなく、 使えるものは使う 環境に貢献、社会に貢献

「何かに利用できないか」

清掃センターから出るガラス状の黒い小さな固まりスラグ。砂の代用品としてスラグを使った製品を作り出す企業があります。社会全体で環境にやさしい取り組みが始まっています。

民間による持松地区 産業廃棄物管理型 最終処分場の 建設計画について

牧園町持松地区で、産業廃棄物管理型最終処分場の建設を計画している都城市の東亜環境株式会社、当該処分場の設置許可申請の前提となる事前協議書を9月26日、県(鹿児島県始良・伊佐地域振興局)に提出、受理されました。

また、当該処分場建設計画地内には市有地が一部含まれており、その払い下げ要望のために、本市へも同日来庁されました。

民間による牧園町持松地区の産業廃棄物管理型最終処分場の建設については、合併以前から、さまざまな議論がなされてきているところです。

今後、市としましては、「鹿児島県産業廃棄物等の処理に関する指導要綱」に基づき、関係市町村として事前協議書に対する意見聴取が求められることとなりますが、地域住民の皆さまをはじめ、関係各位のご意見、ご要望をお聴きし、それらを十分に踏まえて、市有地の払い下げ要望に対する回答について、できるだけ早い時期に最終的な結論を出す必要があります。

清掃センターでは家庭や事業所から出た「ごみ(一般廃棄物)」を焼却しています。最終的には、焼却灰をセメントで固めた飛灰固化物とカーボン(炭素)を溶かして固めた溶融スラグ(以下「スラグ」)が排出されます。飛灰固化物は再利用できないため、廃棄物として民間処分場に処分を依頼しています。スラグは廃棄物として出すのではなく、有価物(価値のあるもの)として企業に売却されます。

スラグはどのようにしてできるのでしょうか。清掃センターに集められた可燃ごみは、熱分解ドラムに送られて蒸し焼きにされカーボンになります。このカーボンを燃焼溶融炉で1、200℃以上の超高温で燃焼無害化し、溶岩のようにドロドロに溶かします。これを水の中に落

て混ぜます。製造するには砂だけを利用するよりコストがかかるのですが、一般の製品と同じ価格で販売しています。これら

清掃センターでは家庭や事業所から出た「ごみ(一般廃棄物)」を焼却しています。最終的には、焼却灰をセメントで固めた飛灰固化物とカーボン(炭素)を溶かして固めた溶融スラグ(以下「スラグ」)が排出されます。飛灰固化物は再利用できないため、廃棄物として民間処分場に処分を依頼しています。スラグは廃棄物として出すのではなく、有価物(価値のあるもの)として企業に売却されます。

敷根清掃センターから出るスラグはアスファルト合材や路盤材として、また伊佐北始良環境管理組合の「未来館」のスラグは、歩道などに使われるインターロッキングに生まれ変わります。これらの製品を作るときには、スラグを砂の代用品として混ぜます。製造するには砂だけを利用するよりコストがかかるのですが、一般の製品と同じ価格で販売しています。これら

溶融スラグの再利用については、平成10年に厚生省生活衛生局から通知があり、基準を満たしているものについては公共工事に利用しても問題はないとされてきましたが、まだ霧島市ではスラグ混入アスファルトは一部でしか使用されていないのが実情で、今後、可能な限り舗装工事などに使う方向で協議を進めていきます。

環境に配慮し 地域に貢献する企業

市の取り組み



◎自由部門
「うまや・昼」作者：白坂伸子



◎テーマ部門
「なにかが・・・キリシマ」作者：濱田和彦

第4回霧島市美術展

9月20日から29日まで霧島市役所市民ギャラリーで霧島市美術展が開催され、312点の応募作品の中から選ばれた、入賞48点・入選102点の作品が展示されました。期間中、多くのかたが来場され、展示作品を熱心に鑑賞いただきました。

【自由部門】(敬称略)
きりしま大賞Ⅱ 白坂伸子(霧島市) ほか特別賞Ⅱ 平原恵子(出水市) 吉村ゆう子(鹿児島市) 塗木マサミ(鹿児島市) 山元悦子(鹿児島市) 吉村英樹(鹿児島市)

【テーマ部門】
きりしま大賞Ⅱ 濱田和彦(いちき串木野市) ほか特別賞Ⅱ 藤井孝良(始良町) 野間みつ(霧島市) 田島禮子(東串良町) 上別府さる(霧島市) 大山利秋(鹿児島市) 瀧崎孝尚(鹿屋市) 立神松勇(霧島市) 橋口麻沙美(鹿児島市) 幸野尊弥(霧島市) 万膳恵子(霧島市) 安藤恵子(霧島市) 満田秋雄(霧島市)

11月は児童虐待防止推進月間です

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加しており、特に、子どもの生命が奪われるなど重大な事件も後を絶たない状況において、児童虐待問題は社会全体で早急に解決すべき重要な課題となっており、虐待の発生予防、早期発見、早期対応から虐待を受けた子どもの自立に至るまでの切れ目のない総合的な支援が必要です。

これらの総合的な対策が地域に根つき、効果的に実施されていくためには、援助関係者を含

む各界各層の幅広い国民の理解を深めていくことが不可欠です。このため、国は平成16年度から児童虐待防止法が施行された11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、期間中に児童虐待防止のための広報・啓発活動など種々な取組を集中的に実施しています。

本年度は「きこえるよ 耳をすませば 心のさけび」を標語として取り組めます。

市では市役所1階の福祉事務所に家庭児童相談室を設置し、児童虐待の通報や子どものこと・自分のことの相談を受付けて

いますので、気軽にご相談ください。

◎問い合わせ先Ⅱ 児童福祉課 家庭児童相談室 ☎(45) 5111 (内線2044)、児童福祉課 ☎(64) 0991、鹿児島県児童総合相談センター ☎099(264) 3003

「ご存知ですか」「かごしま子育て支援バスポート事業」

地域全体で子育てを支援する気運づくりおよび子育て家庭の負担軽減を図ることを目的とする事業です。

妊娠中のかたおよび満18歳未

満の子どもがいる世帯(本市住民基本台帳登録者)にバスポートを交付し、そのバスポートを協賛店で提示すると、善意による支援サービスを受けることができます。

・ サービス例Ⅱ スタンブポイントアップや商品の割引、ドリンクサービスなど。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

・ 申請手続Ⅱ バスポート交付申請書は、担当課窓口に準備してあります。

※妊婦のかたは母子健康手帳を、児童と同居していないかたは

養育関係を示す資料(保険証等)を提示してください。

・ 協賛店の募集Ⅱ 子育てを支援いただける企業・店舗を募集します。取組可能な範囲でサービス内容をお考えいただき、協賛申込書を提出してください。

※協賛ステッカーを掲示することで、子育てを応援する企業・店舗であることをPRできイメージアップにつながります。

また、県・市のホームページで紹介・PRされます。

◎問い合わせ先Ⅱ 児童福祉課または各総合支所市民福祉課(福祉課)

平成20年度特認校生募集

● 制度の趣旨と目的
豊富な自然環境に恵まれた小規模校の特性を生かし、心身の健康増進・体力づくりとともに、自然に触れる中で学ぶ楽しさと、豊かな人間性を培いたいと希望する保護者・児童生徒の皆さんに、一定の条件のもとで、特別に入学(転学)を認める制度です。

※住所はそのまま、自宅からの通学となります。

● 募集について
● 募集期間Ⅱ

平成20年1月21日(月)～2月22日(金)
● 体験入学Ⅱ
体験入学や学校見学は11月以降いつでもできます。体験入学の期間は学校によって異なりますので、現在通っている学校の校長先生を通じて、希望する学校へ連絡してください。新小学1年生は直接希望する学校へ連絡してください。(体験入学が申し込み条件となります)

● 申込・問い合わせについて
体験入学実施後、学校教育課事務係に申込みをしてください。

さい。ただし、新小学1年生の保護者のかたは、子ども同伴でお越しください。なお、申込書などは各特認校でも配布しています。

● 入学(転学)の条件
・ 平成20年4月1日現在で霧島市立小・中学校に籍があること。
・ 1年間を通じて通学できること。(年度途中での転入・転出は原則としてできません)

● 小規模校での教育を真に理解し、賛同していること。

● 原籍校や特認校の学級編制に支障のないこと。

● 保護者の責任で安全な通学が可能であること。
● 特認校における学校行事、PTA活動や子ども会活動など積極的に関わることができること。

※場合によっては、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

● 特認校一覧
・ 木原小学校(国分郡田) ☎(49) 3106
・ 川原小学校(国分川原) ☎(45) 3688
・ 平山小学校(国分川内) ☎(48) 2330

● 塚脇小学校(国分上之段) ☎(48) 2211
・ 佐々木小学校(横川町下ノ) ☎(72) 9022
・ 中津川小学校(牧園町上中津川) ☎(77) 2429
・ 持松小学校(牧園町持松) ☎(77) 2421
・ 永水小学校(霧島永水) ☎(57) 0367
・ 中福良小学校(隼人町嘉例川) ☎(43) 9232
・ 木原中学校(国分郡田) ☎(49) 3106

◎問い合わせ先Ⅱ 学校教育課事務係 ☎(45) 5111

霧島ふるさと誕生祭2007 11月24日、25日開催

3年前まで国分地区で開催していた「こくぶ産業フェア」が規模を拡大して、新たなイベントとして生まれ変わります。

今回は「ふるさと霧島を支える元気な人・物・産産を再発見」をテーマに、霧島市の特産品や産業の製品、技術、農産物などを第1次産産から第3次産産までを集め、霧島市の魅力を広く紹介します。

当日は、伝統工芸からIT産業までを展示紹介する「ものづ



くりゾーン」と野菜や魚介類などを販売する「自然の恵みゾーン」、市内各地の飲食店や団体の味自慢をする「食の文化ゾーン」、商工業者による展示販売する「くらしのサービスゾーン」、地域の学び舎から生まれた成果物の展示販売する「学びの成果ゾーン」に分かれ、さまざまな催しが開催されます。霧島市の魅力いっぱいイベントを、ぜひお楽しみください。

● 日時Ⅱ 11月24日(土)～25日(日) 午前10時～午後4時(両日とも)

● 場所Ⅱ 国分シビックセンター



実行委員長 徳重 克彦さん

お祭り広場
◎問い合わせ先Ⅱ 霧島ふるさと誕生祭実行委員会 ☎(47) 6100

実行委員長コメント
霧島ふるさと誕生祭2007

3年前まで「こくぶ産業フェア」として、地元に着していたフェアをどうにか復活させた

い思いで、活動してきました。念願がかないこの度「霧島ふるさと誕生祭」に名前が変わり、旧国分市だけでなく霧島市全体の産産を集め霧島市の大きなシンボリックふるさと祭にしたいと思っています。目的は合併したにもかかわらず、旧1市6町という広い市内にどんな産産、どんな人たちが、どんな特産品、どんな観光があるか分からない人たちが多くいます。これを1か所で行きやすいミニ霧島市を創りたいと思います。皆さんの皆さまにご来場して、楽しんでいたきたいと思います。



郷土史への扉

西南戦争が勃発して、今年で百三十年が経ちました。霧島市の各地でも戦いがありました。戦争に参加し、戦死した人も数多くいます。霧島市と西南戦争はどのような関わりがあったのでしょうか。

霧島市と西南戦争

教育などのため、私学校を設立します。私学校の勢力は県令の大山綱良の協力を得て、大きなものになり、この様子を長州出身の木戸孝允は「鹿児島県はまるで独立国のようだ」と批判しています。このような批判を受け、大久保は鹿児島県の改革を実行しようとし、明治九年一月に、帰郷という名目で、鹿児島県出身の警察官を内部偵察などのために鹿児島に派遣しました。

一月二十九日、政府は鹿児島県にある

西南戦争は「明治六年の政変」が発端となります。日本は朝鮮国に国交の樹立を求めますが、日本に不満があり交渉に応じません。そこで政府は西郷隆盛を朝鮮国に派遣し、もし交渉を拒絶されたら武力行使もやむをえないとする方針を打ち出します。このような、西郷や板垣退助らの征韓論に対し、外遊から帰国した岩倉具視や大久保利通らは国内の安定が先決であると反対しました。結局、岩倉の工作によって、西郷の派遣は取りやめになりました。

これによって西郷は職を辞し、鹿児島に帰りました。これに伴い、板垣も辞職し、旧薩摩藩出身の桐野利秋も辞職しました。

明治七年（1874）、県内の若者の

武器・弾薬を大阪に移送するため、こっそり船に積み込みました。この勝手な行動に怒った私学校の人々は夜、草牟田火薬庫を襲撃し、武器などを奪いました。この日から連日のように県下で火薬庫の襲撃が行われました。これを聞いた西郷は「しまった」と嘆いたそうです。

二月三日、偵察に来ていた警察官を一斉に捕縛しました。西郷を刺殺にきたという疑いからです（視察の勘違いともいいます）。

十三日には大隊の編成が行われ、明治

十年（1877）の二月十五日、数十年ぶりの大雪の中を、篠原国幹率いる第一大隊を先頭に、順次熊本方面へ出発し、西南戦争がはじまりました。

二月二十一日薩軍は熊本城を完全に包囲しました。夜半から翌朝にかけて熊本城を攻撃しました。しかしこの間の二月十九日には征討の命令が出されました。

政府は電信による通信で、すばやい対応を行ったのです。

薩軍は熊本城を攻撃するも、なかなか攻め落とせず、結局熊本城は最後まで落ちませんでした。最初から苦戦を強いられ、三月になると、吉次時・田原坂・植木などで激戦が繰り広げられました。

十三日には政府艦隊が鹿児島に入港しました。このとき、国分の敷根火薬製造所が破壊されました。

四月・五月と熊本を中心に戦闘が行われ、時が過ぎるにつれ鹿児島県内での戦闘が増えていきます。薩軍は六月の初めには拠点としていた人吉での戦いに敗れます。ここから、官軍は大口、川内、宮之城、栗野、横川方面を攻略することになりました。

七月一日、横川で戦闘が始まりました。六日には国分から霧島大窪、牧園方面、七日には国分、春山原、襲山の妻屋、さらに八日に霧島の大窪で再び戦いがあり、



南洲翁宿營之跡碑（牧園）

十一日には国分の永迫、上之段、翌日は上之段から牧之原、十四日には豊後坂、佳例川が戦場になっています。

八月三十日朝、西郷は吉松の山口重保宅を出発し、栗野を経て同日午後には二石田から深川方面にかけて二十時間に及ぶ激戦中の横川を通過しています。この時両軍の戦死者は六十余名にのぼっています。横川通過後は踊郷（牧園）の霧島温泉駅近くの前田万兵衛方に宿泊し、深夜ひそかに出発しました。浜之市に出ようと考えましたが、国分、加治木は官軍が占拠していたことから、赤水、岩穴、三縄を通過し、始良町の山田に入り、三十一日蒲生にて宿泊しています。翌、九月一日に鹿児島に到着し、翌日城山に入りました。

九月二十四日、午前四時に城山総攻撃が開始されました。その三時間後に城山は陥落したのです。

文責 坂

歯の健康

M E D I C A L L E C T U R E

やさしい医療講座

（社）始良郡歯科医師会専務理事・始良郡歯科医師会霧島市支部会員
竹ノ内歯科医院 院長／竹ノ内 哲



良く噛むことが健康

食べ物を食べるということは、動物が生きていく上でなくてはならない行動です。百獣の王といわれるライオンの歯が無い状況を想像してみてください。歯を失って獲物を獲れないということは、野生の世界では生きていけないことを意味します。しかし、人間には知恵があります。歯を失っても手や道具を用いることで、食べ物を加工して栄養分を取り入れることができます。歯科医院でブリッジ（抜けた歯の両隣の歯と歯の間を橋のようにつなぐ人工歯）や入れ歯などで失った歯の部分の補って噛めるようにすることができます。

もし、下あごの第一大臼歯を失うと、すべて健康な歯を持つていたときに比べて噛む能力は60%ほどになります。さらにすべての歯を失って総入れ歯を入れたとしても、その能力は噛める入れ歯で25%、噛めない入れ歯では2・5%ぐらいいだといわれています。

食べ物が口の中に入ると唾液が出てきます。良く噛むことで唾液と噛み砕かれた食べ物が良く混ざり合い、食べ物の味を充分に感じる事ができ、おいしく食べられ、精神的な満足感を得る事ができます。良く噛むこと・噛めることで、関係する筋肉を活性化して顔の表情が豊かになります。また、安静時に比べて脳の血流量が増加することで、脳の広範

な活動が上昇して、脳の発達や認知症の防止に深く関連しているといわれています。逆に、良く噛まない・良く噛めないという事は食べ物の味を充分に感じる事ができなかつたり、満足感を得られずに食べ過ぎて肥満の原因になったりします。話題になっている、メタボリック症候群にもつながります。味の濃い柔らかい食べ物が好まれる現代では、1回の食事で噛む回数が約600回、戦前の約2分の1になったといわれています。

唾液のさまざまな働き

良く噛むと唾液が充分に出てきますが、良く噛まない・噛めない状況では唾液の量は少なくなり、唾液にはどのような働きがあるのでしょうか。主だったものを述べてみます。

消化作用

アミラーゼという消化酵素が含まれていて、でんぷんを分解します。良く噛んで食べることで胃腸の負担を軽減します。

洗浄作用

細菌や食べかすなどを洗い流します。

抗菌作用

細菌の発育を抑制します。

緩衝作用

酸性に傾いた口腔環境を中和します。

上皮細胞成長因子

傷の治りを促す作用があります。動物が傷を舐めるのは、この作用によるものです。

抗がん作用

歯の健康を保つために

毎日、車に乗るAさんとBさんが同じ時期にピカピカの新车を購入したとします。Aさんは定期的にワックスがけやオイル交換など、十分な手入れをしています。かたやBさんは乗りっぱなしでほとんど手入れをしません。5年後、2人の車の状態は想像のつくところだと思います。

歯を使わない日は一日もありません。自分でできる手入れ（歯磨きや適切な食生活）は怠ってはいけません。毎回、百点満点であり続けることは不可能です。車の定期的なオイル交換などの手入れのように、歯科医院を定期的に受診することとはむしろ歯や歯周病の予防（プロフェッショナルケア）、早期発見・早期治療を可能にします。

一定の年齢を超えると体は老化していきます。口の中も当然のことながら老化していき、しかしながら、健康管理を充実させることで若々しく、良く噛める状態を保つことは可能なのです。



8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

霧島市役所 広報広聴課 行

(No.44/2007.11)

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの身近な事、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださったかたの中からハープソルトを5人のかたにプレゼント。応募締め切りは11月20日(火)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

先 日、両親と隼人国分サテイへ行きました。すると入り口に牛乳パックトレー回収箱の横にめもりのついた大きな箱が...?よく見るとペットボトルのキャップだけがたたくさん!それは、テレビのCMなどでも見る「ワクチンがたりない」の文字。何でもペットボトルのフタ1,000個で1人分のワクチンになるとか。すごい!いつもならゴミになってしまふものが人のためになるなんて!これなら子どもでもフタの貯金ができますね。ペットボトルのフタ貯金をはじめませんか?ゴミの削減にもなりますよ。(K 32歳女性)

いろいろな方法で困っている人を助けることができるんですね。アルミ缶や使用済みの切手などは聞いたことがあります。ペットボトルのキャップでワク

先 日、霧島市役所より大判の封筒が届きました。中を開けると「霧島市交通計画に関するアンケート」が入っていました。実は霧島市から(旧国分市を含め)アンケートが送られてくるのが3度目なんです。アンケート調査票は統計的な処理を行った上で無作為に抽出されたかたに送付されているようですが、くじ運のない私が何度も対象者に選出されるのか不思議でなりません。周囲のかたで送られてきたというの聞きませんでしたし、もしかすると一度抽出したかたの名簿を何度も使っているのでは?と思ってしまうしました。(アンケートは大変34歳女性)

都市整備課に聞いてみました。今回のアンケートは、各中学校区域での人数配分で無作為抽出により実施しました。市が行うアンケートは、それぞれの趣旨により、その対象も違うので名簿を何度も使うことはありません。今後とも市民の皆さまから貴重な意見を賜り、市政や政策

ま だまだ日中は暑い日が続きますね。先日友人と霧島の矢岳に見返り草を見に行きました。(見返り草はオオルバテンニンソウ)朝8時の高千穂河原は、気温20度と少し肌寒いくらいです。気持ちのいい高原の空気を感ぜながら、矢岳の頂上まで片道2時間の道のり。頂上には色鮮やかな薄紫色の見返り草の大群落に感動しました。秋の一日、登山もいいですよ。霧島は最高! (霧島連山大好き44歳女性)

秋の霧島連山はいいでしたね。今年の矢岳は、ここ数年にない見返り草の花つきと聞いています。一面の大群落に遭遇ができてラッキーでしたね。これから霧島連山は紅葉のシーズンになります。山を楽しんでください。

このほかに14通のお便りがありました。ありがとうございます。プレゼントは5人のかたに配送しました。

※ハガキには住所・氏名・年齢などを必ずお書きください。

毎 号すみずみまで読ませていただいています。特に自分が育った福山の記事を読むと再発見したようでとてもうれしく思います。これはどこの町に住んでらっしゃるかたも同じですよ。3歳になる息子も写真をみて「ママうれし〜い!」とうれしそうに報告して気に入っているようです。今の子どもたちには素晴らしい霧島のことをわかってもらうことは、とてもいい情報誌だと思っています。これからも身近な霧島のすばらしさを伝えてください。(ちい26歳女性)

すみずみまで読んでいただきありがとうございます。自分の地

両 親の墓参りのため帰省しました。湯之谷山荘のお湯につかり、しばし浮世離れた時間を過ごしました。車の音もなく、風の音、たまにふくろうみたいな泣き声がかたから静かなひとときを味わい、やっぱりふるさとはいいなと思えました。私は菱刈町の出身ですが、母は栗野の人、よく霧島の温泉のことは聞いており湯之谷温泉のことも耳にしたことがあり妹と訪れてよかったです。多分、母も入ったであろうお湯につか

き りしまを食す」と題字が少し変わりましたが、私は毎回楽しみにしています。食べ物のことはいいですよ。人間は食べることで元気が出るし。作物を作られる人たちの顔もすてきです。夫婦二人で、あるいは子どもたちも手伝い、家

霧島の温泉にばかり心も体も癒されて良かったですね。次の帰省のときはぜひご夫婦で楽しんでください。

図 書館へ行く」のページを毎月楽しみにしています。新刊書をチェックして図書館に行き、窓口で借りたい旨を申し出ると、親切に後日、電話で「借りる番がきましたよ」と知らせてくださいます。また本を借りることができ、2週間5冊を家で読書できます。図書館は、年中無休で夜も午後9

「きりしまを食す」のページは、霧島市の旬の食材を取り上げ市民のかたに生産者の声を届けることと霧島の食材を食べてもらいたいという思いで作成しています。これからもいろいろな食材を紹介していきますので、レシピを参考に料理を作ってみてください。

霧 島市に住んで8年になリます。いろんな所へ足を運びました。史跡、文化、学問、産業、観光と多方面で幅広く、奥深いものが多いことに、びっくりしています。地形的にも県の中心地で大きな霧島市だなどつくづく思っております。すばらしいまちですが、道路の整備が遅れているように感じます。道幅も狭く側溝にフタもなく歩かたびに、ひやりとさせられています。ウォーキングをしているかたも多いようです。安心して歩ける道路にしてほしいです。そうすることでますます魅力のある霧島市になっていくのではないのでしょうか。(しろいたんぽぽ54歳女性)



キリシマヒゴダイ(キク科)

Readers Voice 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



族総出で協力しあい頑張っている姿が見えてきます。作物を育てるように子どもの成長を見守るようなものが、天候に左右されながら苦労も多いかと思いますが、その成果を見ながら実りの収穫のときは苦労の多かっただけ喜びもひとしおなのではと、食べる側にいる私はそんなことを思いつつ読んでいます。農業をされているかたに感謝を込めて (K 62歳女性)

時まで利用できるの、仕事や家事を終えて足を運んでいる私です。読書の秋、みなさんにもお勧めのスポットですよ。(秋野りんご49歳女性)

いつも図書館を利用していたですが、ありがとうございます。利用者の声をきいて「行きたい、知りたい、ホッとしたい」図書館を目指しています。これからいろいろな声を聞かせてください。

バイパス店で接客する竹下さん



この町が心の原点

◎竹下 大作

日ごろは考えたこともありませんが、こんな文を書いていると気付かされます…。いつのまにか故里である横川町になんかの違和感なく住んでいる自分の、確かに嫌いではないのですが、20代初めのころの私は考えてもいなかったでしょう。

古い横川町での記憶を探ってみました。遠い昔、まだ駅前広場は舗装されておらず、遠くまで水たまりと草はらがつづいていて、その水たまりに映った夕焼けと、飛び交う赤とんぼの群がうかんできました。まだ私が保育園に通うころの記憶だと思いません。あのころの夕方は、祖母と両親の経営する駅前のス

トアも、お客でごった返してました。まだ今ほどは車が普及しておらず、大きなスーパーもなかったのです。町の人たちが列車を利用する人たちで、店はお客でいっぱいでした。その様子を茶の間の入り口から見ていたのを思い出します。

時代の流れや、人として大人になっていくさまざまな状態や条件のなかで自分自身の考え方を養えていかなければなりません。横川町の町並みや風景のように、変わらないでいてほしいものもあります。そして、そんな子どものころから知っている変わらない町に身を置くと、いい意味で変わっていく自分を客観的に捉えやすくなっている自分にも気付かされます。変わらない町や思い出す記憶が、自分の心の原点を教えてくださいませんか。そう、横川町は私の心のゼロ地点、原点なのかもしれません。

冒頭に横川町のことを嫌いではない、と書いていますが、この文章を書いていくうちに少しずつ気付いてきました。毎日会う、いて当たり前家族を愛していると気付かないように、小さいころからいつもあった横川町が、そして、うちの店がとても好きなんだというところを。

時は流れて、バイパス道路ができ、高速が通り、今や車も一人一台の時代。変わらない横川町もさすがに変わりました。父の気転でバイパス通りに店を出し、経営は成り立ちましたが、バイパスのおかげで商店街は立ち寄る人が減り、車の普及で列車は利用客が減り、大きなスーパーの店もあいつつ、駅前の商店からは昔の賑わいは無くなりました。こんなことなら、あの水たまりの夕焼けをアスファルトにしなければ良かったのに…と思いましたが、あの駅と町並みはまだ残っているのでもう少し残してほしい。

前のように存在した店が、いつか終わるものとは想像できなかったことも確かでした。大学を卒業し、営業、販売の会社で7年間働き、気が付くと、客商売が好きになっていく自分がいました。それから成り行きで店を手伝うことになったのですが、今思うと、もっと前から自分の潜在意識のなかでこうなることを望んでいたような気がします。

まだまだ不景気が続く厳しい世の中ですが、本物の貧乏を経験してきた祖母と両親に言わせれば、こんなのは不景気のうちに入らないらしいので、そんなことは気にせず、両親の続けた店を私もがんばって手伝えたいと思います。まだまだ半人前の私ですが、みんなやればなんとかなるような気がしています。ガンバラナクチャ！

Profile

たけした だいさく (34) / 横川町中ノ在住
昭和48年横川町生まれ。大学卒業後、県内の家具・インテリア店に就職し販売業を学ぶ。平成14年から実家が経営する竹下青果に就職。地元横川町の商工会青年部に所属し、今年度、県商工会青年部の主催で優勝し県代表として九州大会に出場する。



市章

霧島連山と「K」がモチーフ。上から「花は霧島」の花と夢と元気と霧島連山。みどりや山々と豊かな平野部。紺で水清き天降川。下の紺で波静かな錦江湾。全体に躍動感をつけて雄大な自然と市民が融合し世界へ躍進する霧島市を表現しています。

◎人口 / 128,452人(+1)
男性 / 61,981人(-3)
女性 / 66,471人(+4)
出生 86人 / 死亡 96人
転入 332人 / 転出 326人
◎世帯数 / 56,733世帯(-8)
(平成19年10月1日現在)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

11 PRESENTS

お便りをくださったかたの中から はあぶ工房 遊香里(ゆうかり)の ハーブソルトをプレゼントします

単人町にある「遊香里」の自家製無農薬栽培のハーブとミネラル分たっぷりの塩を混ぜたハーブソルト。レモングラスとローゼルのハーブティ、添加物無しの手作りジャムとセットでプレゼントします。使ったかたにリピーターが多いというハーブソルトはパスタやサラダ、焼魚やおにぎりなどにどうぞ。さわやかなハーブの香りをお楽しみください。

◎問い合わせ先=はあぶ工房 遊香里 ☎(42) 4988



※読者プレゼントを提供して下さるかたを募集しています。広報広聴課広報グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。



◎今月の表紙

10月19日 午後7時13分
溝辺町麓

【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ17~85mmF4~5.6
97S F8 ISO100

年間約570万人の乗降客がある鹿児島空港。その空港を発着する飛行機の光跡をバックに九州自動車道を往來する車両の光跡を素材に交通の要衝であるスポットを狙った。紅白の光跡を辿るとそこは年間約310万台の車両が出入りする溝辺鹿兒島空港IC。空港とともに、霧島市発展の拠点となっている。

西 南戦争が終わって130年。郷土史への扉で紹介したように霧島市内でも激しい戦闘がありました。官軍と薩軍の武器や兵力の差をみると薩軍の不利は明らかで、最初から負け戦だと分かっていたのかも…。それでも西郷さんたちは戦った。そこにはどんな思いがあったのだろう(み)

朝 タと寒くなってきました。いまだに日本列島の紅葉全線がなかなか南下してこない今日このごろです。霧島連山の紅葉も昨年と比べて1週間から10日は遅いようです。台風の影響がなかったせいもあって紅葉が楽しめます。温暖化や異常気象が原因で時期がずれて残念(な)

温 泉シリーズが始まり、このシリーズを紹介するキャラクターを作りました。その名も極楽泉隊「スバレンジャー」隊長：きりしマン。この後、湯あたりマン、のぼせたマン、癒(いや)しマンを作ろうと思ったのですがみんなに却下されました。つまりボツです。残念。(た)

全 国で初めてという「あんしん・あんぜん検定」。何人かに受検の動機を聞くと「自分たちで防犯に心がけたい」といけなかつたから」と答えてくれました。犯罪率が高い霧島市でとても心強い言葉でした。この輪がもっと広がればと思いました。皆さん、一緒に気を付けましょう(あ)

市長コラム 前田終止

温故知新

「資金繰りは火の車。社員に支払う給与だけでも総収入の9割以上に上り、前の責任者は、自己破産を申請」。上杉鷹山が、17歳にして9代目米沢藩主(山形県)に就いたとき、藩の財政はまさにこうなっていた。鷹山は財政破綻した藩の建て直しにかかることを余儀なくされました。藩主に就くや徹底した「大俵約令」を発します。高鍋藩(宮崎県)という弱小藩の生まれで、養子に入った鷹山を、古くからの藩重臣たちは侮り、抵抗します。藩にとって格式がいかに重要かが、小藩出の鷹山には分かっていないのだと。しかし、自らも衣食住は質素に贅沢を慎み、領民にも同様の倹約を促し、領民とともに農地を耕しました。養蚕、絹織物の生産を奨励し農村振興、行財政の健全化と教育などの改革を成し遂げたのです。私利私欲を離れ、家臣や領民の声を耳を傾け、世のあり方や人の道を追求したことが成功の鍵だったのです。米国の大統領に就任したケネディが日本人記者団の質問に「最も尊敬する日本人は上杉鷹山です」と答えたといえます。私も鷹山に学び、万人のための改革を実行していきたいと考えています。